

鳥取大学と連携(7)

共同研究「津波対策」

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育・研究理念に掲げ、地域への知識等の提供を積極的に行っており、本町と鳥取大学は、平成24年度から町のさまざまな課題解決に向け連携しています。



▶測量中の大学生

今年度も鳥取大学大学院工学研究科の松原雄平教授・黒岩正光准教授と「津波対策」共同研究に取り組んでいます。

昨年度は、町内の避難所や公施設など約60か所の海拔測量を実施しました。今年度は、追加測量の要望があった12か所の海拔を、9月19日(木)に黒岩准教授と学生4名が測量しました。今回測量した12か所には、海拔表示板が新たに設置されました。

今後は、航空写真を利用した浸水予測図を作成し、沿岸集落で避難経路確認ワークショップを実施する予定です。



▶鳥取大学研究成果報告(8月9日)

こんな連携も… 鳥取大学インターンシップ

9月17日(火)～20日(金)の1週間、鳥取大学大学院工学研究科の西村光法さんがインターンシップ(学生の就業体験プログラム)で、企画情報課に勤務しました。西村さんは「御来屋地区のお散歩マップ作成」に携わり、最終日には御来屋地区まちづくり会議にも参加しました。



西村 光法さん

鳥取大学大学院
工学研究科

社会基盤工学専攻
社会経営工学コース

私は今回のインターンシップ(就業体験)で、御来屋地区の「お散歩マップ」の作成に携わらせていただきました。御来屋地区には昨年、高齢者の移動手段についての調査で訪問していたのですが、御来屋地区の見どころや歴史などについては、まったく知りませんでした。

お散歩マップを作成するにあたり、私は次のようなことに重点を置きました。御来屋地区は後醍醐天皇とゆかりがあり、名和神社があり、昔ながらの商店がある。私はこの

ような御来屋地区の魅力を前面に押し出したお散歩マップを作ろうと決めました。4日間という短い滞在期間でしたが、おすすめポイントを写真に収めようとカメラを片手に自転車ですりまわりました。暑い時期でしたが自転車で回ると海からの風が、とても気持ちよかったです。作成期間も短かく、満足いく出来とはいえないものの、今回作成したお散歩マップを御来屋地区のまちづくり会議の中で発表しました。実際に

御来屋地区に住んでおられる方からおすすめポイントを教えてくださり、うれしかったです。

また、この会議と一緒に参加させていただき、「自分たちの生活は自分たちで考えよう」という住民が主体となっているまちづくりがとても印象に残りました。地域の絆が強いからこそ行える会議だと感じました。このような経験をさせていただき本当にありがとうございました。

私はこのインターンシップを通じて、行政に携わるうえで地域に対する考え方や、地域住民の自主性の大切さを肌で感じる事ができました。今回の経験を将来活かせるように努めていきたいと考えています。

※インターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」で、企業や自治体、NPO法人等との連携によって行われる人材育成のひとつの形態です。